Unityゲーム × ニフティクラウドmobile backend 体験会

NIFTY Cloud

- ごあいさつ
- ニフティクラウドmobile backendについて
- 体験会について
- 事前準備
- mBaaSへの認証の準備
- ●データ更新実装
- ランキング実装
- まとめ

ごあいさつ

本日は二フティブースに

お越しいただきありがとうございます。

ハンズオンは二フティクラウドmobile backend を使ってUnityゲームにサーバー機能を、

「素早く無料」で導入するハンズオンです。

ハンズオンでは下記の2つのことが体験できます。

- ゲームスコアの保存
- ・ランキングの実装

ぜひお楽しみください!

ニフティクラウドmobile backendとは?



スマートフォンアプリの**バックエンド機能**が

開発不要になるクラウドサービス

ニフティクラウドmobile backendとは mBaaS(mobile backend as a Service)と呼ばれる クラウドサービスのジャンルのひとつで、 スマートフォンアプリでよく利用される汎用的な機能を クラウドから提供するサービスです。

クラウド上に用意された機能を API・SDKで呼び出すだけで利用できるので、 サーバー開発・運用不要でよりリッチなバックエンド機能を アプリに実装することができ、工数削減による コストカット・スピードアップに貢献します。

※SDKはUnity,iOS, Android, JavaScriptの4つを提供しております。

提供中の機能













Unityに導入することで実現できること

UnitySDKで提供中の機能







Android・iOS各プラットフォームへの プッシュ通知配信



ユーザーログイン認証



オンラインランキング



本日の体験会で行うこと

データストアの更新・取得を利用した スコア保存・ランキングの実装

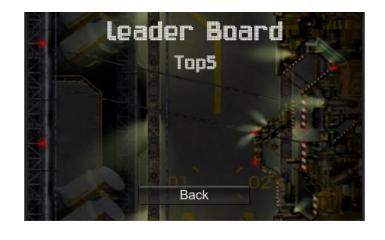


Unityチュートリアルの「2Dシューティング」に ニフティクラウドmobile backend(mBaaS)を導入します。

この体験会では下記の二つのことが体験できます

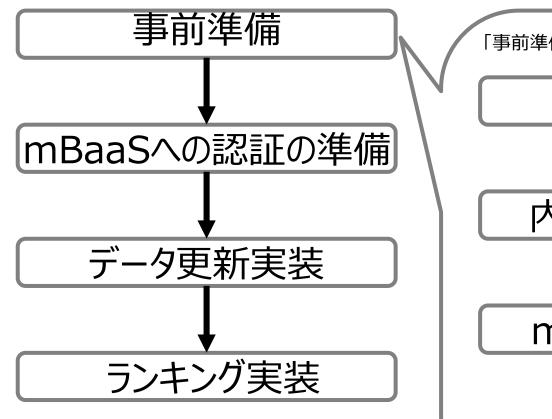
- ・ゲームスコアの保存
- ・ランキングの実装

どちらもアーケード形式を想定してご案内いたします。 30分ほどのお時間をいただくかと思いますが、 なにとぞよろしくお願いいたします。



体験会の流れ

本日の体験会は大きく分けて4つのフローで行います。 まずは事前準備からです。



「事前準備」にておこなうこと 資料のDL 内容物·動作確認 mBaaS利用登録 mBaaSのアプリ作成

※mBaaSのアプリ作成とは、 アプリ用のサーバー環境を作っています。

資料がしにあります

https://github.com/hounenhounen/NCMB_BitSummit_2DShooting



内容物·動作確認

内容物確認

DLファイルフォルダには、以下の3つが含まれています。



動作確認

体験会で使うフォルダの中にAsset> Scenes Stage.sceneをダブルクリックしてゲームを 実行してください 実行時とゲームオーバー 時に下記の画面が出ればひとまず大丈夫です。

実行・ゲームオーバー時に 下記の画面が出ればOK

本日体験会で使うファイル

注意

- 本資料を置くフォルダのパスに 全角文字は使用しないでください。 エラーが表示されることがあります。
- 2. 本ファイルはUnity4系で作成しています。5系を利用の方はUpgradeが必要です。

ゲーム実行時の画面



ゲームオーバー時の画面



mBaaSの利用登録 1/4

まず、下記URLよりmBaaSのサービスサイトに アクセスしてください。

※右クリックして新しいタブで開くと便利です。

http://mb.cloud.nifty.com/

ここをクリック



無料登録をしていただくと、@nifty会員登録を行うフローに移ります。 @nifty会員登録をしていただいた後、mBaaSにログインしていただくと mBaaSの利用登録が行えます。次項以降の説明に従い、利用登録を行ってください。

mBaaSの利用登録 2/4



mBaaSの利用登録 3/4

必要事項を入力して @nifty会員登録してください。

無料でID登録

まずは無料から、二フティクラウド mobile backendをお試しください!

基本情報の入力

ユーザー名 ※		・入力時における注意
パスワード※	[半角6~24文字]	・使用できる文字 【ご注意】パスワードの不正利用を防ぐために
メールアドレス ※		・入力されるメールアドレスについて

@nifty会員規約 個人情報の取り扱いについて

個人情報の取り扱い及び@nifty会員規約に同意し

登 録

mBaaSの利用登録 4/4

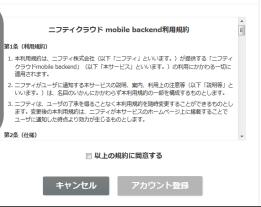
ニフティクラウドmobile backendの利用登録を行います。 http://mb.cloud.nifty.com/



◆@niftyTop ◆@nifty会員に登録 お問い合わせ 利用規約 個人情報保護ポリシー

mobile backend

利用規約を 確認後、同意して 利用開始!



利用規約

開発者向けドキュメント

カログアウト @nifty

©NIFTY Corporation

ご登録いただいた **@nifty IDで** ログイン

ľ	コグイン			
Ţ.	<u>【お知らせ】SSL3.0脆弱性への対応に伴うブラウザー</u>			
	@niftyユーザー名または、@nifty IDをお持ちの方			
	@niftyユーザー名または@nifty ID			
@niftyユーザー名または@nifty ID				
	パスワード			
	パスワード			
	<u></u> セキュリティキーボード ⇒ <u>ヘルブ</u>			
□ ログインしたままにする(共用のパソコンではチェックを外してください。)				
	⋒ ログイン			

mBaaSのアプリ作成

利用登録が終わると アプリの新規作成画面が表示されます。 アプリ名を入力して新規作成してください。



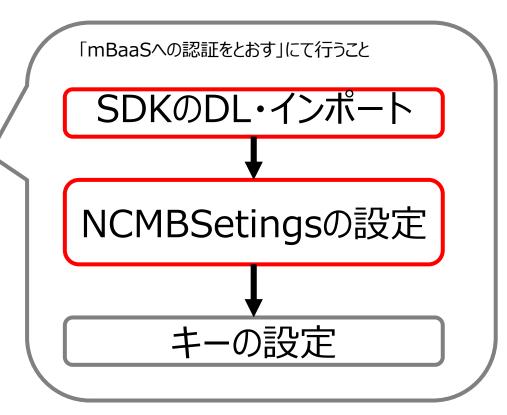


mBaaSは、「アプリケーションキー」 「クライアントキー」の2つのキーを使い、 サーバー接続の認証を行っています。 その2つのキーがアプリ作成時に生成されます。

体験会の流れ

事前準備 mBaaSへの認証の準備 データ更新実装 ランキング実装

事前準備が終わりましたので次は自分のmBaaS環境 とUnityプロジェクトが通信できるようにします。



赤枠部分は、すでに作業を済ませていますので、 最後の「キーの設定」のみを行ってください。 また本資料には赤枠部分の説明もございます。 ※NCMBとはNifty Cloud Mobile Backendの略称です。

※参考資料※SDKのDL・インポート(作業済)NIFTY Cloud

DL終了後 インポート

※今回は本ページの作業を 行う必要はありません。

SDKのDL

https://github.com/NIFTYCloud-mbaas/ncmb_unity/releases

のページを開くと下記のページが開かれます。 赤丸の部分をクリックしてSDKをDLします。

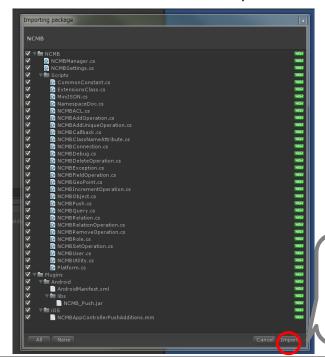
NIFTYCloud-mbaas / ncmb_unity

Releases Tags v1.1.4 Latest release mb ncmbsdk released this on 31 Mar % v1.1.4 -o- d36ec19 NCMBPushのプッシュ通知登録に以下の設定項目を追加 Category o DeliveryExpirationDate o DeliveryExpirationTime **Downloads** MCMB1.1.4.zip クリックすると Source code (zip) DLできます Source code (tar.gz)

SDKのファイルを展開すると 下記のような構成になっております。



先ほどDLしたサンプルゲームを開いた状態でNCMB_latestのUnity package file「NCMB」をダブルクリックすると下記」の画面が表示されます。



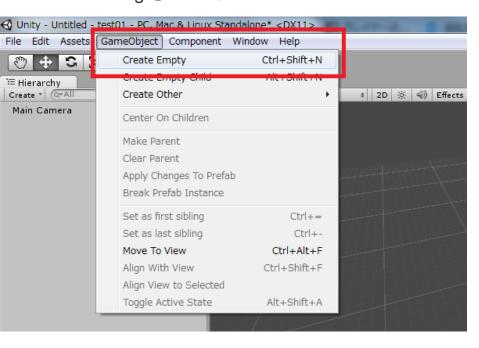
表示された 画面の「Import」 をクリックすると Import可能

※参考資料※ NCMBSetingsの設定(作業済)NIFTY Cloud

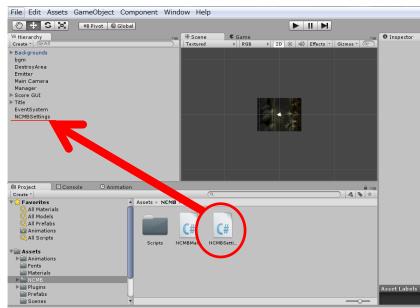
※今回は本ページの作業を 行う必要はありません。

mBaaSへの認証のための設定を行う NCMBSettingsスクリプトを利用するための作業を行います。

Asset>Scenesの「Stage」シーンを開いて 空のGame Objectを作成し 「NCMBSettings」にリネームします。

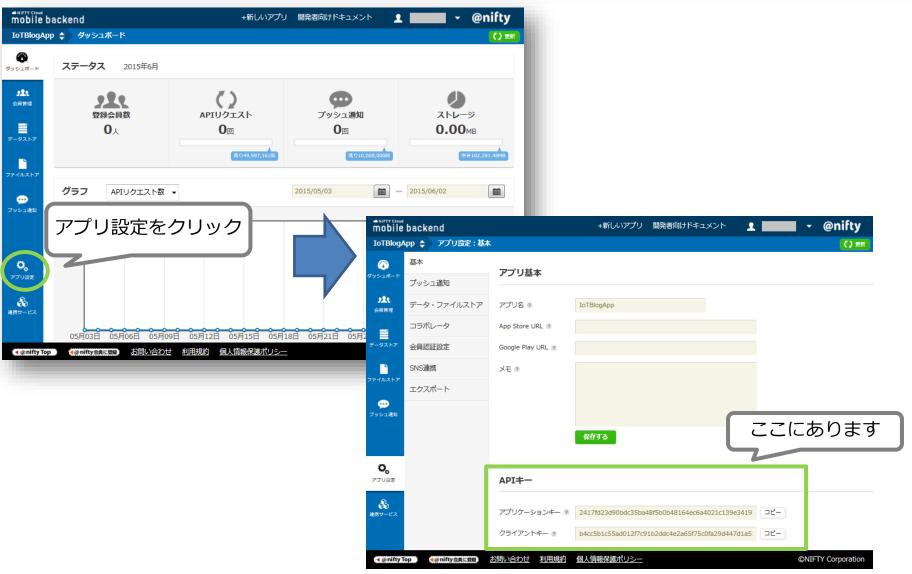


Asset>NCMBの「NCMBSettings.cs」を
「NCMBSettings」のゲームオブジェクト
にアタッチします。



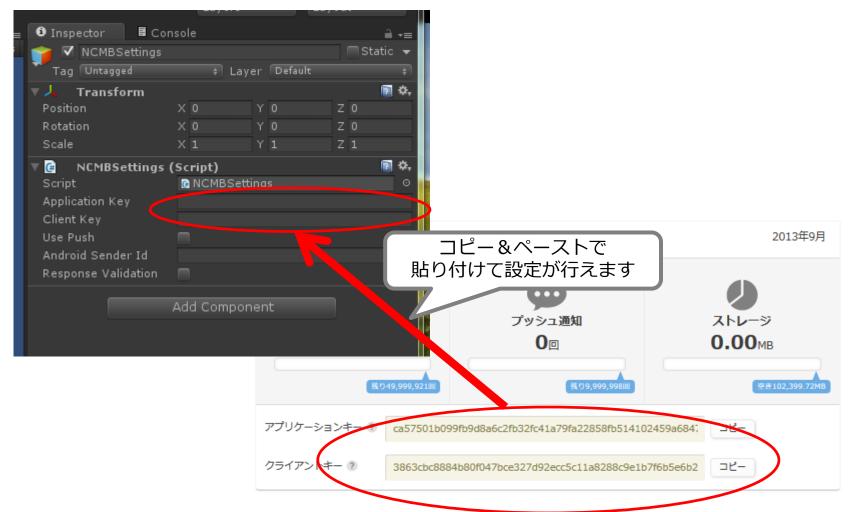
キーの設定 1/2

まず、mBaaSのアプリ作成で管理画面を開いた方にキーの見方をご案内します。



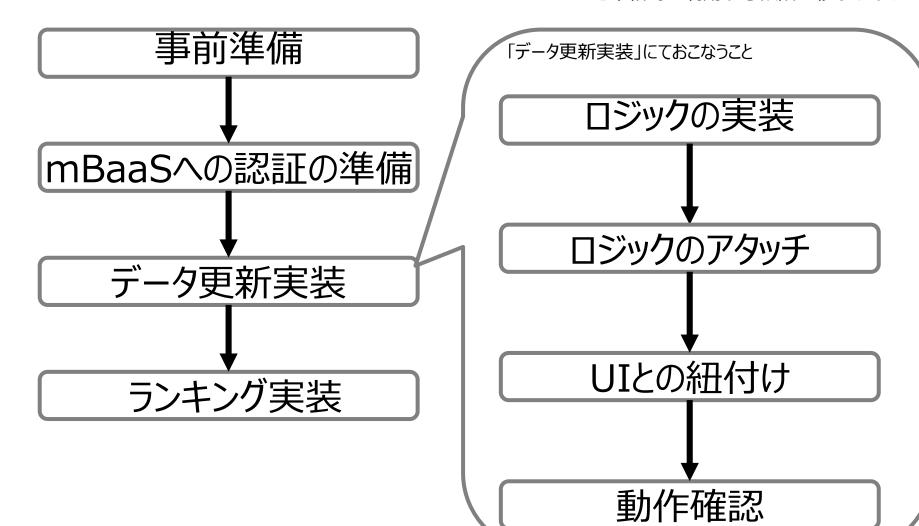
キーの設定 2/2

UnityのHierarchy配下にあるNCMBSettingsをクリックしそのインスペクター部分に アプリケーションキー、クライアントキーを設定します。



体験会の流れ

mBaaSへの認証の準備が終わりましたのでいよいよ mBaaSのSDKを本格的に利用する段階に移ります。



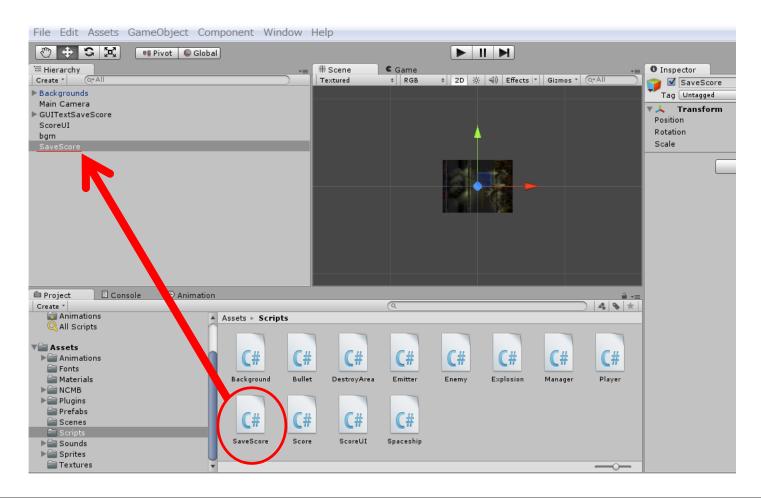
ロジックの実装

Asset>Scenesの「SaveScore」 シーンを開きAssets>Scriptに空の「C# Script」を作り SaveScoreとリネームし下記のコードを実装してください。

```
using NCMB; //mobile backendのSDKを読み込む
using UnityEngine;
using System.Collections;
using System.Collections.Generic;
public class SaveScore : MonoBehaviour {
    // mobile backendに接続-----
                                           更新するクラスを指定
    public void save( string name, int score ) {
         NCMBObject obj = new NCMBObject ("Score");
         obj.Add ("name", name); オブジェクトに名前とスコアを設定
         obj.Add ("score", score);
         obj.SaveAsync ((NCMBException e) => {//非同期でサーバーに書き込む
                            if (e != null) {
    データストアに
                                     //エラー処理
     保存する操作
                            } else {
                                     //成功時の処理
                  });
```

SaveScoreをアタッチさせる

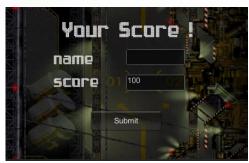
Asset>Scenesの「SaveScore」シーンに「SaveScore」Game Objectを作成し 先ほどの「SaveScore.cs」スクリプトをアタッチしてください。



UIとの紐付け・動作確認

UIとの紐付け

Asset>Scriptの「ScoreUI.cs」の
OnGUIのコメントアウト(赤丸部分)を消去すると
右のゲームオーバー画面の「Submmit」ボタン押した際に
入力した名前とスコアを保存できるようになります。

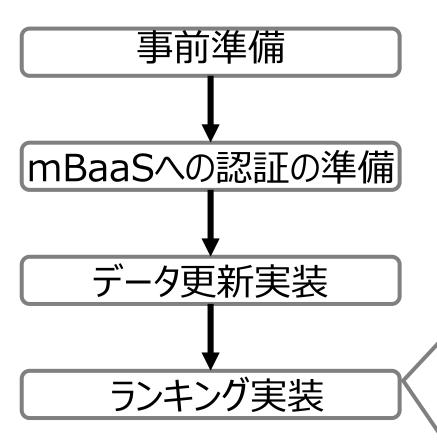


動作確認

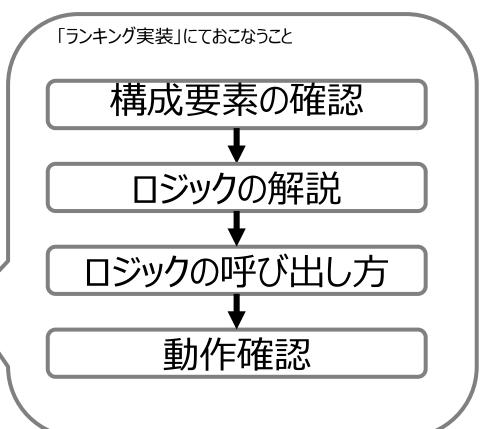
一度Asset>Scenesの「Stage 」 シーンに 戻っていただきゲームを実行してください。

> ゲームオーバー後 管理画面よりデータストアを ご確認いただき左記のように データが入っていれば成功です。





データストアの取得を応用し、ランキングを作成します。 本体験会ではコーディングはせず、ランキングの構成要 素とロジックの解説を行います。



構成要素の確認

- ランキングはAsset>Scenesの「LeaderBoard 」 シーンで生成されています。 下記にその構成要素と各役割を記します。
- LeaderBoardシーンには以下のスクリプトが含まれています。
 - LeaderBoard.cs
 - mobile backendと接続してスコアと名前を引き出す
 - LeaderBoardManager.cs
 - ランキングの表示部、LeadeBoard.csを呼び スコアと名前を引き出しランキングを描画
 - > Rankers.cs
 - 引き出したスコアと名前を一時的に保存するもの
- スクリプト以外のものは以下になります。
 - > 各種見出しGUITextオブジェクト
 - ▶ 順位とプレイヤー名、スコアを表示する GUITextオブジェクト

ロジックの解説 1/2

mBaaSデータを取得するロジックはAsset>Scripts 「LeaderBoard.cs」に記載されています。

public void fetchTopRankers(){ // データストアの「HighScore」クラスから検索 スコアを保存しているScoreクラスを 操作するクエリの作成 NCMBQuery<NCMBObject> query = new NCMBQuery<NCMBObject> ("Score"); scoreカラムを降順に並び替えて query.OrderByDescending ("score"); 引き出すよう設定 query.Limit = 5; 5個だけ取り出すように設定

LeaderBoard.csの解説 2/2

```
query.FindAsync ((List<NCMBObject> objList, NCMBException e) => {
    データストアからスコアと名前を引き出す操作
         if (e != null) {
                  //検索失敗時の処理
         } else {
                  //検索成功時の処理
                  List<NCMB.Rankers> list = new List<NCMB.Rankers>();
                  foreach (NCMBObject obj in objList) {
                         引き出したオブジェクトからscoreだけを取り出す
                              s = System.Convert.ToInt32(obj["score"]);
                         引き出したオブジェクトからnameだけを取り出す
                           string n = System.Convert.ToString(obj["name"]);
                           list.Add( new Rankers( s, n ) );
----以下省略---
                 引き出した
               スコアと名前を
             Rankersクラスに保存
```

ロジックの呼び出し方

今回、LederBoard.csはUnityに依存しない形で実装しています。 開発状態によってはUnityに依存しない形で実装したいこともあるかと思います。 その場合のメソッドの呼び出し方については下記で解説いたします。

LeaderBoard IBoard;

|Board = new LeaderBoard(); // LeaderBoard クラスのインスタンス生成

IBoard.fetchTopRankers(); //メソッドの呼び出し

なお、上記のコードはAssets>Scripts の「LeaderBoardManager.cs」にて記載されています。

動作確認

一度Asset>Scenesの「Stage 」 シーンに戻っていただき、 ゲームを実行してください。

スタート時の画面の左上「Leader Board」ボタンをクリックし、 ランキングが表示されることを確認してください。

ここをクリック







上記のように名前とスコアが表示されたら成功です!

まとめ

体験会は以上で終了です。お疲れ様でした! 本日は以下のことを体験していただきました。

- ・ゲームスコアの保存
- ・ランキングの実装

またmBaaSはデータストアだけでなく、プッシュ通知の配信なども行えます。 プッシュ通知の実装に関するドキュメントもございますのでこちらもぜひ一度お試しください。

●プッシュ通知の解説ドキュメント http://mb.cloud.nifty.com/doc/sdkguide/unity/push.html

この他にも不明点等ございましたら、 ユーザーコミュニティもご用意しておりますのでそちらもぜひご利用ください!

●ユーザーコミュニティ https://github.com/NIFTYCloud-mbaas/UserCommunity

本日はお忙しい中、二フティブースにお越しいただきありがとうございました。 今後とも二フティクラウドmobile backendをなにとぞよろしくお願いいたします。



ニフティとなら、きっとかなう。 With Us, **You Can**.

NIFTY Cloud

ニフティ クラウド